

大草谷津田生きものの里 自然観察会

落ち葉で遊ぼう

晝間初枝（四街道市）

日 時：2018 年 11 月 18 日（日）10:30～12:00 天候：曇り

参加者：22 名（大人 13 名 子ども 9 名）

担当指導員：金子 美幸 晝間 初枝

参加指導員：岡田敬子、芳我めぐみ

公園の樹木や街路樹は、紅葉を待つ前に台風による強風と塩害で葉が傷んだり、散ったりした樹木が多く、きれいな落ち葉が見られるか心配だったが、下見では谷津田へ降りる道に絨毯のように落ち葉がありホッとした。

今日のテーマは「落ち葉」。生き物ではないこともあり参加者は…の心配をよそに大人が多い顔ぶれながらもまずまず。

はじめに入口広場で見渡せる落葉樹や常緑樹を観察して落葉や紅葉のしくみを説明。その後、落ち葉を入れるカゴを配り、谷津田へ降りる道でカゴいっぱい落ち葉を集めて遊ぶことを話して出発！ すぐに足元の落ち葉拾いに夢中になる。途中、あちこちに蜘蛛の糸に引っかかった落ち葉が空中オブジェのように秋の森を飾っていた。ケヤキの大きな木の近くには、タネをいっぱいつけた茶色い葉と黄色い大きなケヤキの葉が落ちていたので比べて葉っぱの役割の違いなどの話をした。この辺りで遅れてきた親子連れ数組が合流。虫取りに夢中になる子どもたちも交えて和やかに林縁の道を進んだ。生き物好きの子どもたちはイナゴやカエルを虫カゴいっぱいに入れてうれしそう。褐葉が進むコナラやクヌギ、大きなヤツデの葉、赤や橙色の美しい柿の葉などでカゴをいっぱいにして谷津田の広場に到着。

みんなでカゴを持ち寄って丸くなり、まず「葉っぱのジャンケン」。大きな葉っぱ、黄色い葉っぱ、虫食い葉っぱなど指導員の合図で葉っぱを出し合い比べてみた。いろいろな葉っぱがあること、思いのほかたくさんの種類の葉っぱを集めたことにみんなうれしそう。

次に緑色の草が残る日当たりのよいあぜ道をキャンパスに各自が集めた落ち葉を使って「葉っぱのアート」に挑戦！ 恐竜の顔、花束、リース、自動車などの作品ができインスタ映えする芸術になったかも！ みんなでお互いの作品を鑑賞した後は葉っぱをつなげて「落ち葉の一本道」を作った。完成した一本道を歩くと、並べたカラフルな落ち葉がカサカサと乾いた秋の音を聴かせてくれた。

最後に落ち葉を大きなブルーシートに集めて今日の落ち葉遊びの締めくくり。「落ち葉さん、ありがとう！」と谷津田に返した。



落ち葉の道 ほら、落ち葉の音が聞こえるよ！